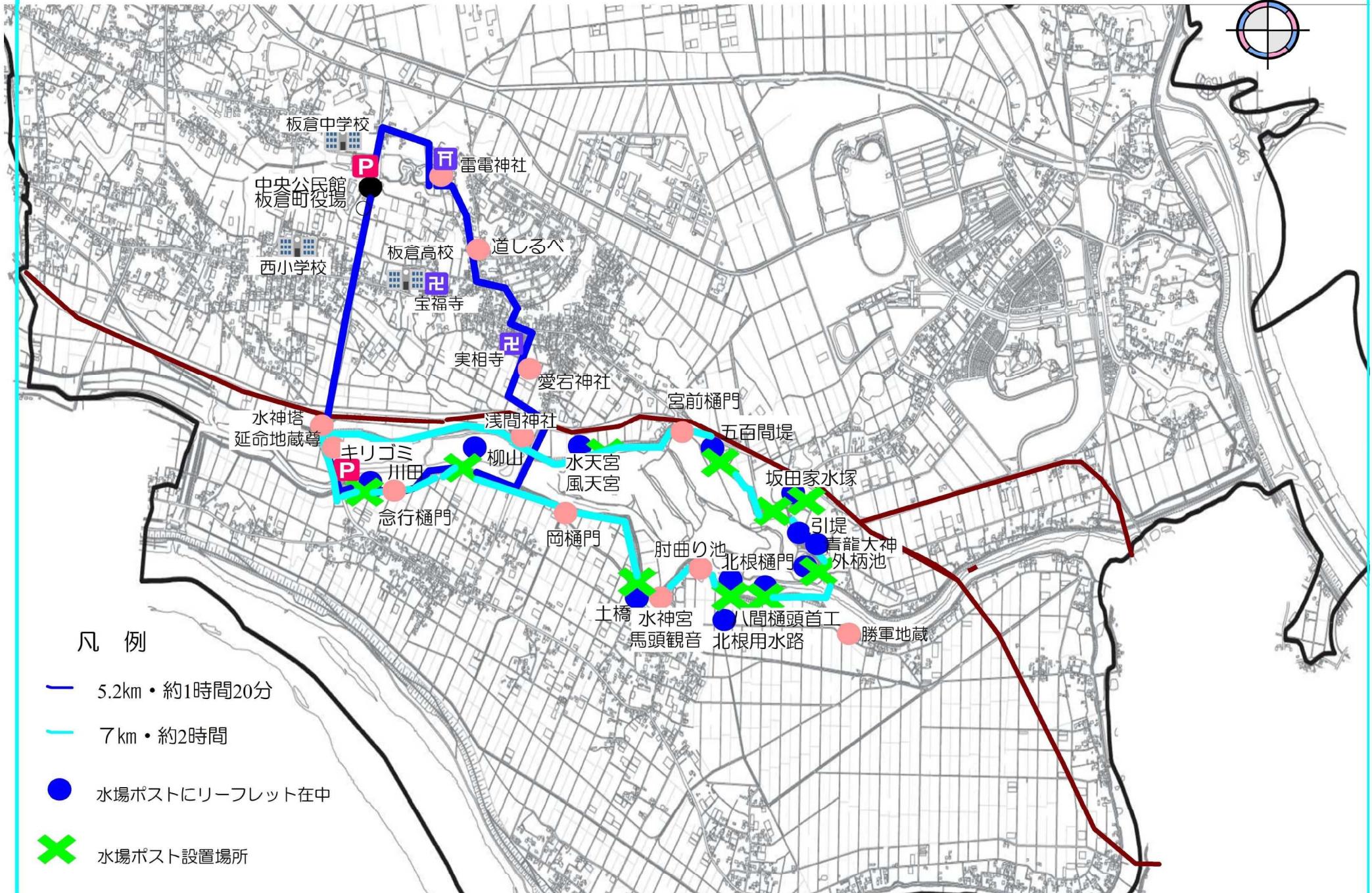
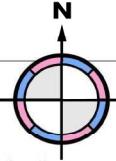


景観ウォーキングまっふ





中央公民館
板倉町大字板倉2698
 0276-82-2435



延命地蔵尊
享保4年(1716)建立。
「イボジゾウ」と呼ばれています。地蔵尊の周りを3回まわるとイボが治ったということです。



水神塔
安永9年(1780)に建立。
オオミズの時、すぐ西側の土手が切れたことに由来し、道標を兼ねています。「北いわふねみち 西たてばやしみち」と刻まれています。



キリゴミ (蛭田沼)
そだ
冬場に粗朶を積み重ねて魚を捕る漁法です。



川田
低地特有の耕作法です。全国的な総称は堀上げ田です。以前は東毛の地域の池沼などで多くみられました。



柳山
中州状になった所に柳を挿し木して以前は薪にしました。現在は伐採しないので柳の林となりました。低地における里山です。



土橋 (団堤)
谷田川の逆流を防ぎました。
文禄堤と同時期(約400年前)
に造られたと考えられます。



水神宮



馬頭観音



肘曲り池

「水性動植物群」が町指定天然記念物です。決済によって出来た堤内地のオッポリです。



外柄池
決壊により堤外地に出来たオッポリです。
12月、邑楽漁業組合による地曳き網が行われています。



青龍大神

オオミズの
切れ所跡です。



勝軍地蔵

町指定重要文化財。
半肉彫。元禄12年



引堤 (1699)の建立。
古河往還の一部です。
天保10年(1839)、決壊
によって改修工事をおこなったことが古文書
によってわかります。



坂田家水塚

木造2階建てで、3.5間
×2間です。



浅間神社

低地のため、高いところである堤防上につくられています。
大正8年5月建立。



道しるべ

「是よりらいでんみち
文化11年甲戌3月酉日上
州邑楽郡當所大同村中」
と刻まれている。



北根樋門

「三ヶ村絵図」によって江戸時代から、樋門であったことがわかります。



北根用水路

五箇谷たんぼにとって、江戸時代から谷田川との重要な用水路です。



五百間堤

谷田川の左岸堤で、
古河往還の一部です。
江戸時代に造られた
堤防で、長さはほぼ
500間(約900m)です。



八間樋頭首工

延宝2年(1745)の絵図に描かれており、江戸時代から谷田川の重要な治水施設の一つであることがわかります。



水天宮・風天宮

赤城神社とも呼ばれています。稻荷木部落の人々によって守られています。



雷電神社

雷電を祀る水神信仰の神社です。本社・奥宮・末社からなります。末社(八幡宮稻荷神社)は国指定重要文化財です。